

FX攻略用語集

FXとは

FX

外国為替証拠金取引 (margin Foreign exchange trading) の略で、外国の通貨を売買して、利益を得る取引のこと。少額の証拠金をかけて、大きく外貨を運用することができる。

為替 (かわせ)

為替手形や小切手、郵便為替、銀行振込などの、現金輸送を伴わない金銭の決済の方法。

資金量 (しきんりょう)

FXの証券会社の口座に入金している金額。入金している資金量が多いほど、ロット数を上げて取引できるようになる。しかし、ロット数を上げて取引するということは、損失を出してしまったときに、失う金額が大きくなってしまうということであり、勝率の高そうな場面と低そうな場面で、ロット数を適宜変更し、初心者は、自分が失っても許容できる範囲の少額の資金量からトレードを始めることをオススメする。

上昇 (じょうしょう)

相場が上方向に上がっていくこと。相場が上昇するということは買いの圧力が効いている状態。

下落 (げらく)

相場が下方向に下がっていくこと。

相場が下落するということは売りの圧力が効いている状態。

通貨ペア (つうかペア)

通貨と通貨の組み合わせのこと。FXを行う際には、必ず通貨の組み合わせでやり取りされる。代表的な通貨ペアは【ドル円、ユーロドル、ポンド円、ポンドドル、ユーロポンド】など。

時間足・時間軸 (じかんあし・じかんじく)

値動きを一定の間隔で区切ったチャートのこと。

1分足、5分足、15分足、1時間足、4時間足、日足…など、様々な時間足がある。ローソク足チャートで言うと、1分足は1分でローソク足1本が形成され、日足は一日かけてローソク足1本が形成される。基本的にはどの時間足も同じ値動きを表示していることになる。

トレード編

エントリー

注文をいれることをエントリーという。

ロット

トレードする上で、どれくらいの資金で取引するか、その時の取引通貨量の単位。1.0 ロット、0.1 ロットなどという。

メタトレーダーでは通常、1.0 ロット=10万通貨。

買い(ロング)

FX では決済通貨を売って基軸通貨を買うこと。例えば「ドル円」の場合、左側の通貨(この場合はドル)を「基軸通貨」、右側の通貨(この場合は円)を「決済通貨」という。「ドル円を買う」というのは、円を売ってドルを買ったという意味になる。

売り(ショート)

FX では基軸通貨を売って決済通貨を買うこと。

例えば「ドル円」の場合、左側の通貨(この場合はドル)を「基軸通貨」、右側の通貨(この場合は円)を「決済通貨」という。「ドル円を売る」というのは、ドルを売って日本円を買ったという意味になる。

決済

現在保有しているポジションを手仕舞い(買いポジションを保有していたらそれを売る、売りポジションをもっていたらそれを買い戻す)にして損益を確定させること。

損切り

損失が大きく増えてしまった場合に、それ以上の損失を防ぐため、損失を覚悟で決済して、取引を終了させること。

ストップロスと言う場合もある。何もしないでそのまま損失を大きくしてしまうよりは、早めに損切りを行って、損失を限定させた方が、資金を大きく減らすことを防ぐことができる。

チャート編

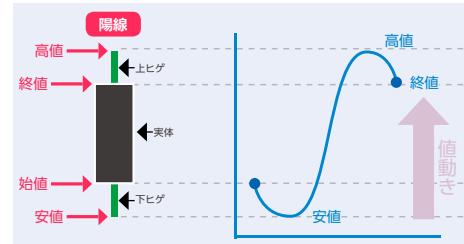
ローソク足

相場の値動きを時系列に沿って表す手法の1つ。

日本人が発案したとされている。始値、終値、高値、安値を1つの足で表現している。

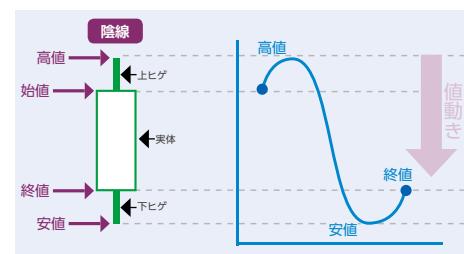
陽線

ローソク足チャートの形の1つで始値よりも終値のほうが高い場合に陽線をつける。



陰線

ローソク足チャートの形の1つで始値よりも終値のほうが低い場合に陰線をつける。



高値 (たかね)

ある一定の期間で取引された中で最も高い値段。

安値 (やすね)

ある一定の期間で取引された中で最も安い値段。

始値 (はじめね)

その日の取引開始時点の価格のこと。外国為替市場には取引所がないため、取引終了時間の値段が終値というわけではない。世界一般的には、1日はニューヨーク市場の終了 (NY 時間で 17 時) を基準に区切っている。日本時間で言うと始値は午前7時ちょうどの値段 (サマータイム中は午前6時ちょうど)。1日単位だけでなく、1週間、1ヶ月、1年で区切った場合も「今週の始値」「今月の始値」「今年の始値」という言い方をする場合もある。

終値 (おわりね)

ローソク足の最後についた価格。始値より終値が高ければそのローソク足は陽線となり、低ければ陰線となる。

インジケーター編

インジケーター

テクニカル分析をおこなう際に、使用する分析ツールのこと。チャートに反映させることで相場の値動きやトレンドなどを視覚的に捉えやすくなる。

代表的なものとして、移動平均線 (MA) や MACD、RSI、ボリンジャーバンドなどがある。

移動平均線 (いどうへいきんせん)

テクニカル分析ツールのひとつで英語では「Moving Average (MA)」といわれている。一定期間の相場の値動きの平均値を求めてそれを表示する。分析する期間により長期、中期、短期の移動平均線と分けられる。



インジケーター編

ボリンジャーバンド

テクニカル指標の1つで移動平均線とその上下に値動きの幅を示す線が表示される。



RSI (あーるえすあい)

インジケーターの1種。

Relative Strength Index の略で、現在の相場が「買われすぎ」か「売られすぎ」かを判断するテクニカル指標。



トレードの種類

スイングトレード

中長期のトレードのことで1日～1ヶ月程度の間でエントリーと決済を行うトレード手法。

デイトレード

1日の中で売り買いを行い、その日の内にトレードを済ませる方法。短期売買のため、基本的にはスイングトレードに比べて、小さな利幅を狙って利益を得る方法だが、ロット数をコントロールすることで、大きな利益も狙える。翌日にポジションを持ち越さないので、大きな相場の変動にすぐ対応できる。

スキャルピングトレード

デイトレードの中でもわずかな空いた時間で利幅を狙って、短時間で売買を繰り返す手法で数秒～数十分の間にエントリーと決済を行うことが多い。

その他

証券会社

有価証券の売買の取次ぎや引受けなどを行う企業のこと。
FXの取引を行うために必要な口座を管理している。 経済指標（けいざいしひょう）
各国の公的機関が発表する物価や金利、景気といった経済状況を構成する要因を数値化したもの。取引通貨の国家や注目度の高い経済指標ほど相場に影響を与える。

MT4（メタトレーダー4）

メタトレーダー4のこと。ロシアの MetaQuotes Software 社（メタフォーツソフトウェア社）が開発した、無料で使える高機能 FX トレードソフト。数百種類のテクニカル指標を自由に組み合わせることができ、世界でも愛用者の多いトレードソフト。

裁量判断（さいりょうはんだん）

経験則からシステムチックに決められたルールをうまく操縦していくこと。

グランビルの法則（ぐらんびるのほうそく）

ジョセフ・グランビルが考案したとされる、移動平均線から売買のタイミングを判断する方法。移動平均線と為替レートの位置関係によって、売りポイントと買いポイントをそれぞれ4つずつのパターンにまとめたもの。ジョセフ・グランビルは移動平均線を考案した人物。